

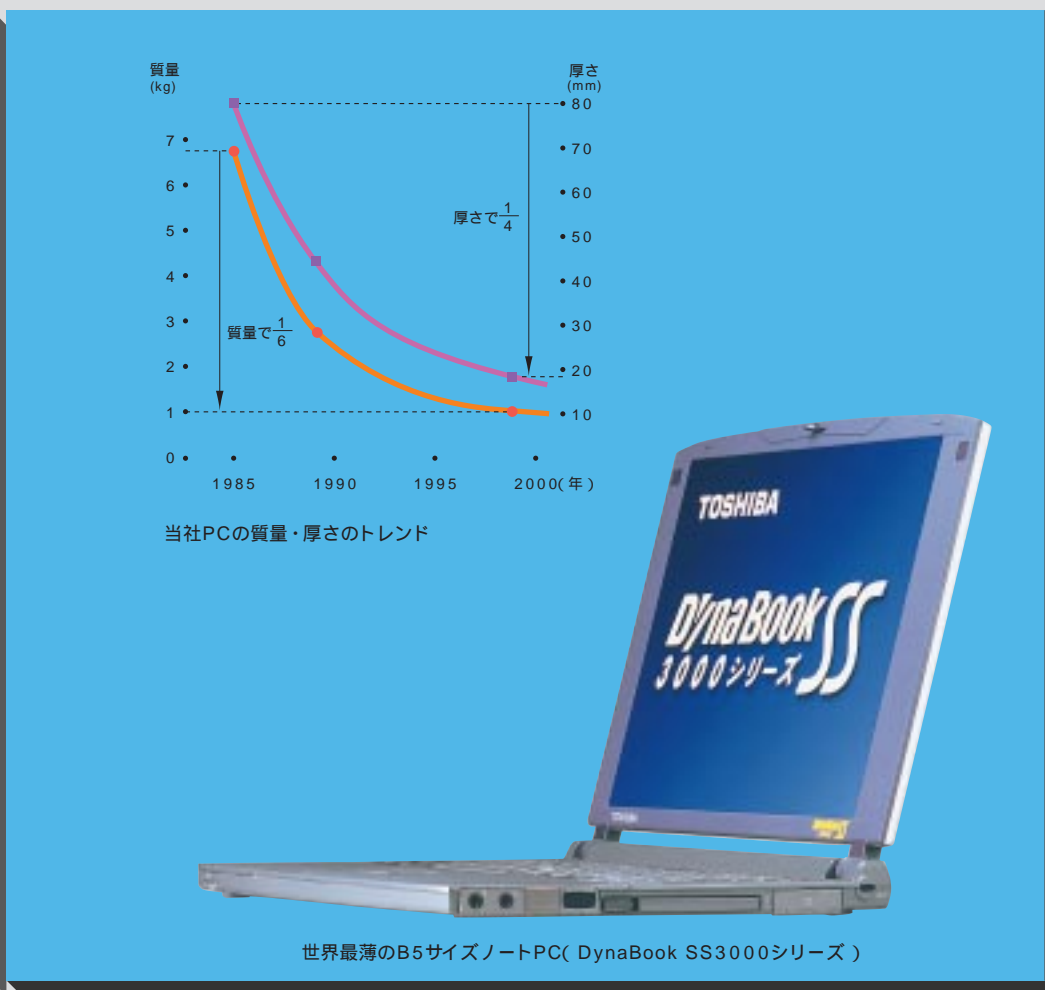
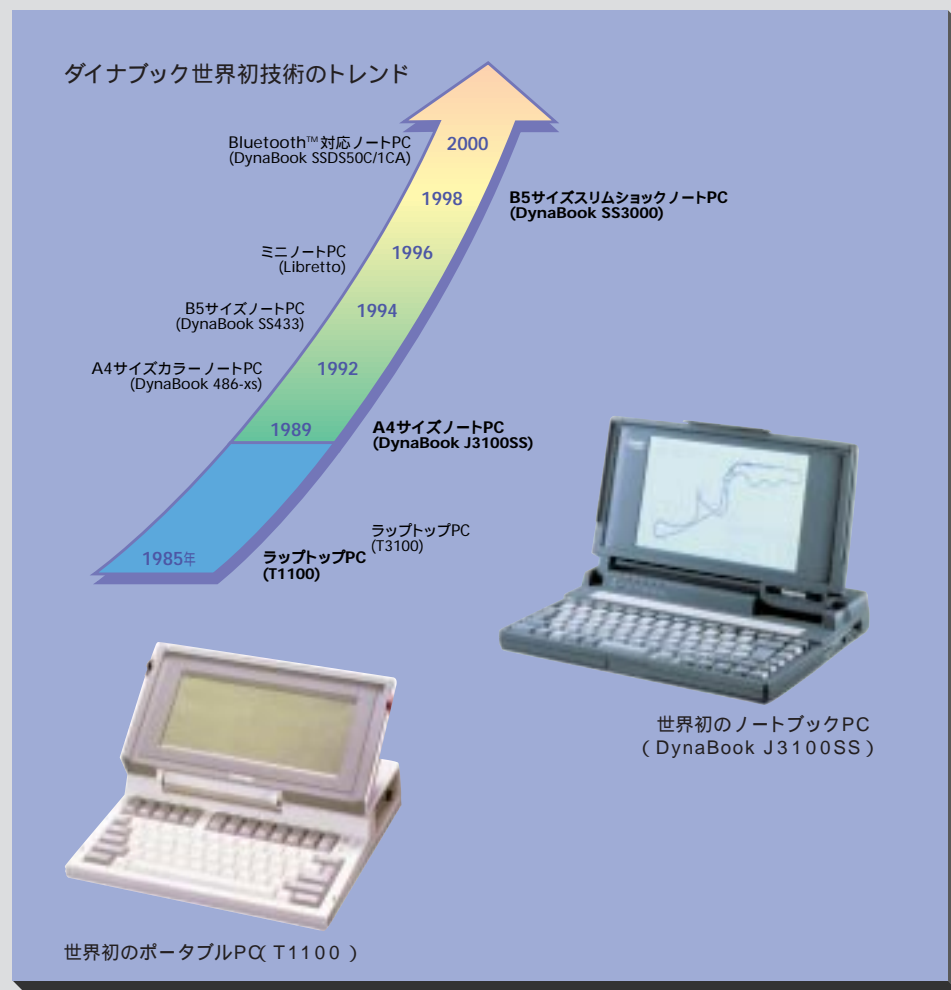


“コンピュータを外へ持ち出したい”———ビジネスマンの夢を初めて実現

新しいコンセプトの先駆け

ダイナブック発表に先立つこと4年前、その先駆けとなったのが1985年に欧州で発表したラップトップパソコン(PC)「T1100」です。これは、液晶ディスプレイと3.5インチフロッピーディスク装置(FDD)を搭載した世界初のポータブルPCとなりました。これと並行して、640×400ドットのプラズマディスプレイと3.5インチハードディスク装置(HDD)を開発し、インテル社80286搭載のPC/AT互換のラップトップPC“T3100”を86年1月に発表しました。この背景として、81年にIBM社がデスクトップPCを出し、アーキテクチャの標準ができました。また、84年にIBM社が出したPC/ATには、5.25インチのHDDが標準装備されており、PCの標準構成がほぼ決まりつつありました。

83年、当社はポータブルPCにもHDDが必要と考え、ラップトップPCの意匠デザインから開発を始めていました。“HDDを持ち運ぶ”これは当時としては常識破りの発想であり、“いつでも、だれでも、どこにでも”という当社PCのコンセプトと技術開発はここから始まりました。



高集積専用LSI, 超薄型キーボード, 薄型2.5インチHDD(8.45 mm厚2枚単板タイプ), 薄型液晶モジュール, CPU放熱薄型冷却モジュール, 省電力機構, ハロゲンフリーの環境調和型プリント基板など、新たに開発した多くの要素技術を採用しました。

特に、省電力機構は、Window®98で採用されたパワーマネージメント機能 ACP(Advanced Configuration and Power Interface)です。この仕様は、マイクロソフト、インテルの両社とともに開発したもので、業界標準となりました。

更に2000年9月には、新たなモバイルワイヤレスの世界を拓ひらき、世界初のBluetooth™(注2)対応のB5ノートPC「ダイナブック SSD50C/1CA」と周辺機器を商品化しました。

初代ダイナブック発売以来10年余、89年日経年間優秀製品賞の最優秀賞をはじめ、国内外から数多くの賞をいただきました。そして今日、機能が飛躍的に向上するなかで、当初のPCコンセプトは生き続けています。

ダイナブックの進化は、いまだ道半ばであり、IT(情報技術)最先端のツールとして、次の世界初、次の世界一を目指して製品を提供してまいります。

デジタルメディアネットワーク社
PC技師長
田中 宣幸

ダイナブックの誕生
真のポータブルPCを目指すダイナブックのプロジェクトは、ラップトップ型を発表した86年に始動しました。“次の革新は当然、更に小さなブック型PCになる。3年後には、ビジネスマンがカバンに入れて持ち運べるPCを作る。すなわち、A4サイズ、質量3 kg、パーソナルユースのために手ごろな価格にする”、という概念仕様がここで決まりました。この仕様は、従来のラップトップ技術の延長ではどのようにしても実現できず、結局、要素部品は全部開発する必要がありました。メイン基板を大幅に凝縮、キーボード及びFDDの薄型化、液晶は薄さと

明るさを両立させたEL(エレクトロルミネセンス)バックライト方式、取外し可能な大容量化バッテリーの採用などです。
その結果、要求仕様を超える厚さ44 mm、質量2.7 kgの製品が完成しました。こうして89年6月、ダイナブックは世界で初めて、コンピュータを外に持ち出すことを実現しました。
2.5インチHDDの開発は駆動系の安定化が意外に難しく、初代ダイナブックには間に合いませんでしたが、高精度軸受技術の採用に活路を見いだし、約半年遅れの90年1月に10MバイトのHDDを搭載したダイナブックを発売しました。

これらの各要素技術の開発ではたいへん苦勞をしましたが、それが今でもノートPCのコア技術であり、多くが業界標準となっています。
続く挑戦
92年には、256色表示のTFT(薄膜トランジスタ)カラー液晶を搭載した世界初のカラーノートPCを商品化しました。
94年には、世界で初めて3.5インチのFDDを搭載したB5サイズノートPCを商品化、96年には、Microsoft® Windows® 95(注1)を搭載した世界最小最軽量のミニノートPC(Libretto)を商品化しました。

更に、98年には、世界最薄の19.8 mm、質量1.19 kgのB5サイズノートPCを商品化しました。
この超薄型ダイナブックSS3000シリーズは、持ち運んで使うことを重視したデザインを採用しており、“SS:スリム ショック”のキャッチフレーズとともに、ビジネスマンはもちろん個人ユーザーにも広く支持され、真のパーソナルPCに近づきました。この超薄型ノートPCは、初期のポータブルPC J3100(厚さ80 mm、質量6.8 kg)に比較すると、厚さで1/4、質量で1/6に小型・軽量化されました。
このB5型世界最薄ノートPCには、マグネシウム合金筐体(きょうたい)、

(注1) Microsoft, Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標。
(注2) Bluetoothは、当社がフィンランドのノキア社、スウェーデンのエリクソン社、米国のインテル社、IBM社などとともに企画の推進を図っている新しい近距離無線データ通信技術。Bluetoothは、その商標権者が所有しており、当社はライセンスに基づき使用している。